

受検 番号	
----------	--

課題3 <sup>たろう</sup>太郎さんと花子さんは、くらしの中のさまざまな情報や生活の変化について、先生を交えて話し合いました。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

先生：世の中には多くのメディアが存在します。みなさんはテレビやインターネットをどのくらい利用しているのでしょうか。資料1を見てみましょう。

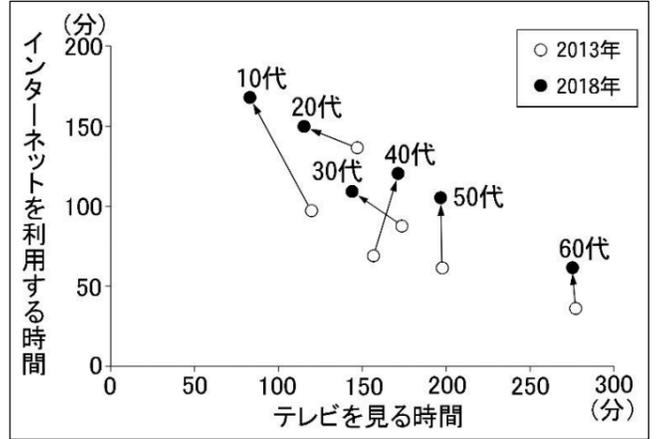
太郎：グラフの矢印には、どんな意味があるのかな。

花子：10代から60代までのそれぞれの年代について、テレビを見る時間とインターネットを利用する時間の変化が分かるのではないかな。

先生：そうですね。ではこの資料を見て、10代から60代までの6つの年代について、利用時間が5年間でどのように変化したかを考えてみましょう。

- (1) テレビを見る時間とインターネットを利用する時間について、資料1の6つの年代を変化の特ちょうによって大きく2つのグループに分けたいと思います。あなたならどのようなグループに分けますか。分けた理由もふくめて書きましょう。

資料1 2013年と2018年における年代別テレビ・インターネットの平日1日当たりの利用時間の変化



(総務省資料から作成)

※

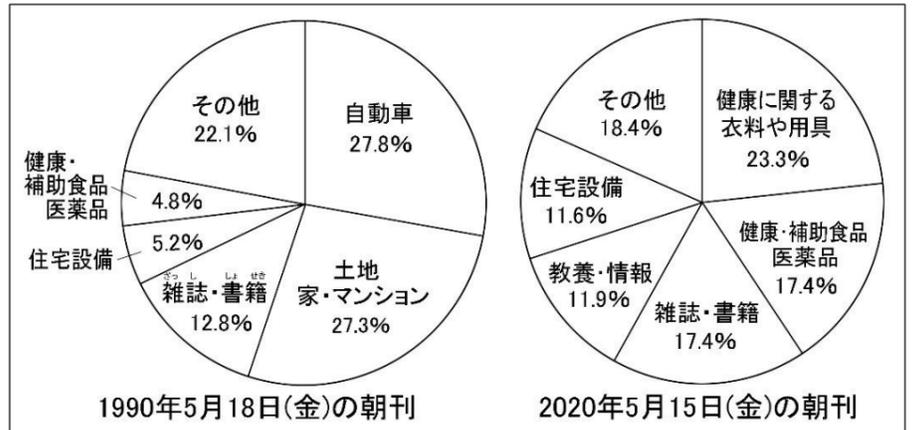
先生：商品やサービスを提供する会社は、自社の商品に関する情報を届ける手段の一つとして広告を利用します。ここに1990年と2020年の新聞があります。この2つの新聞にある広告の内容を項目ごとに分けてグラフにすると、何か気付くことがありますか。

太郎：30年間で新聞広告の内容が大きく変わっています。1990年は、自動車や住まいに関するものが多いですが、2020年には、健康や医療に関するものが増えてきています。

花子：この30年間で新聞広告の内容が変化した理由は何かな。

- (2) 資料2を見ると、30年間で新聞広告の内容が変化しています。「世代」という言葉を必ず用いて1990年と2020年の特ちょうを比べながら、変化した理由として考えられることを書きましょう。

資料2 新聞広告の内容



※紙面に掲載されたすべての広告に対する面積比による。(朝日新聞縮刷版から作成)

※

先生：現在、さまざまなメディアを通じて多くの情報を得るだけでなく、自分たちで情報を発信することもできる時代になりました。そのことで、社会とわたしたちの関係はどのように変わったのでしょうか。

太郎：例えば、自分の意見や良さを発信する機会が少なかった人でも、積極的に発信できる機会が増えてきていると思います。

花子：つまり、情報化が進むことで、これまでよりも社会との関わりを強めることができるようになったということですね。

- (3) これまで自分の意見や良さを社会に向けて発信する機会が少なかった人が、情報化が進むことによって積極的に発信し、社会との関わりを強めることができるようになった例としてどのようなものがありますか。解答らんの「ア」には、発信する機会が少なかった人を、「イ」には、発信した内容と、発信したことで社会との関わりを強めることができるようになった例を書きましょう。

ア		人が、情報化が進むことによって
---	--	-----------------

※

イ	
---	--